

① 大掃除 10 年間の変化

- ・実施率は 4.8 ポイント減少。“年末恒例の習慣”という意識の薄れか
- ・「1 日」で大掃除を済ませる人が 2 倍に！

『ダスキン 大掃除に関する意識・実態調査』は、2005 年（2004 年末の大掃除が対象）から調査を開始し、2014 年の調査（2013 年末の大掃除が対象）で 10 回目を迎えました。

10 年間の大掃除実態の変化をみると、2013 年末の大掃除実施率は 57.7%と、10 年前（2004 年末の大掃除）と比べて 4.8 ポイント減少し、最も実施率が高かった 2009 年（2008 年末の大掃除）の 71.7%と比較すると、14 ポイントも減少しています。また、大掃除をした理由は「気持ち良く新年を迎えたい」が 10 年前も 1 位ですが、「毎年恒例の習慣だから」は 10 年前より 6 ポイント減少しており、習慣意識は薄くなりつつあることがうかがえます。

大掃除に費やした日数は、全体的には「2 日」が多いですが、「1 日」の割合は 10 年前と比べて 2 倍に増えました。

実施率、実施日数ともに減少傾向にあり、大掃除は“コンパクト”になっているようです。

図 1 : <上>大掃除実施率 (2004 年末~2013 年末)

<下>大掃除をした理由 (2004 年末と 2013 年末)

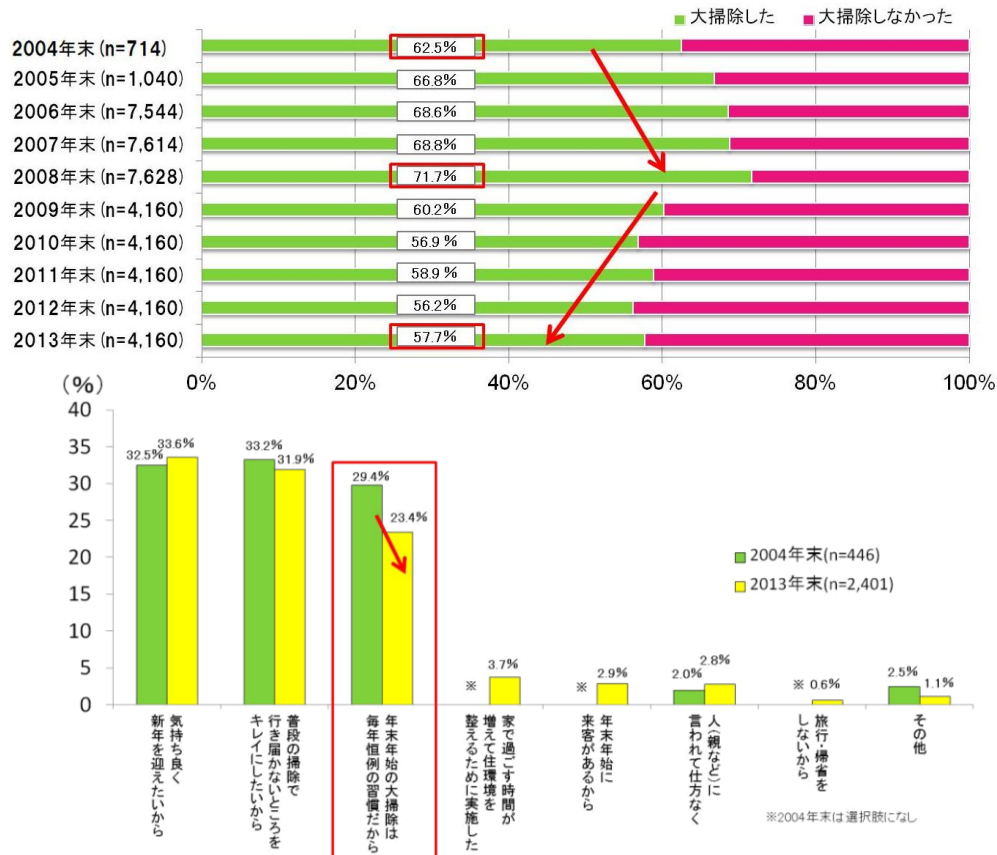
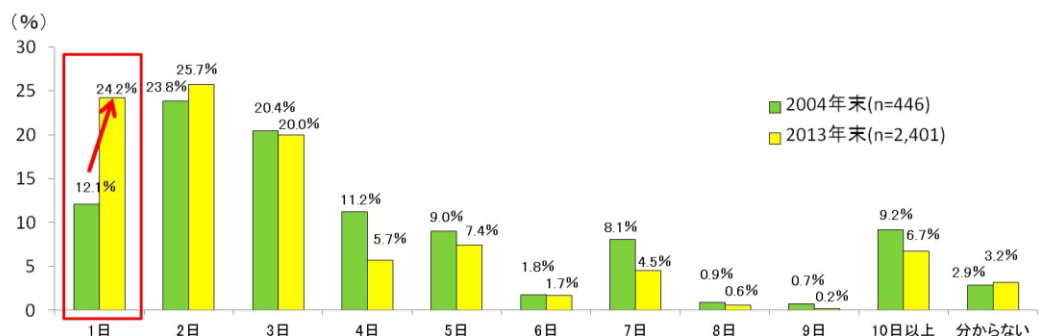


図 2 : 大掃除に費やした日数 (2004 年末と 2013 年末)



② 「レンジフード・換気扇」は大掃除最大の悩み

- ・頑張ったのに報われない、レンジフード掃除の実態
- ・苦戦する理由は“時間”“設置環境”“構造”“掃除知識”とさまざま

調査の結果では、過去と比較して変化が見られる項目もありますが、変化が見られない項目もあります。2010年（2009年末の大掃除が対象）から調査を開始した「大掃除で最も精力的に掃除する場所」、「最も汚れが落ちにくい場所」については、5年連続で「レンジフード・換気扇」が1位でした。大掃除においてレンジフード・換気扇の掃除は最大の悩みといえます。

それでは、レンジフード・換気扇掃除のどのような点で苦戦するのか聞いてみたところ、“時間がかかる”、高所で掃除しづらい“設置環境”、また分解が必要な“構造上の問題”、そしてどう掃除したらよいか分からない“掃除知識の不足”、などさまざまな理由が挙げられました。

5年間苦戦し続けている場所だけに、一度プロによるクリーニングサービスを依頼するなどして汚れを一掃し、その後は防ぐ工夫を行うなど、「レンジフード・換気扇」掃除の取り組み方の見直しが必要だと考えます。

図3： <上>大掃除で最も精力的に掃除した場所（2009年末～2013年末）
<下>大掃除で最も汚れが落ちにくかった場所（2009年末～2013年末）

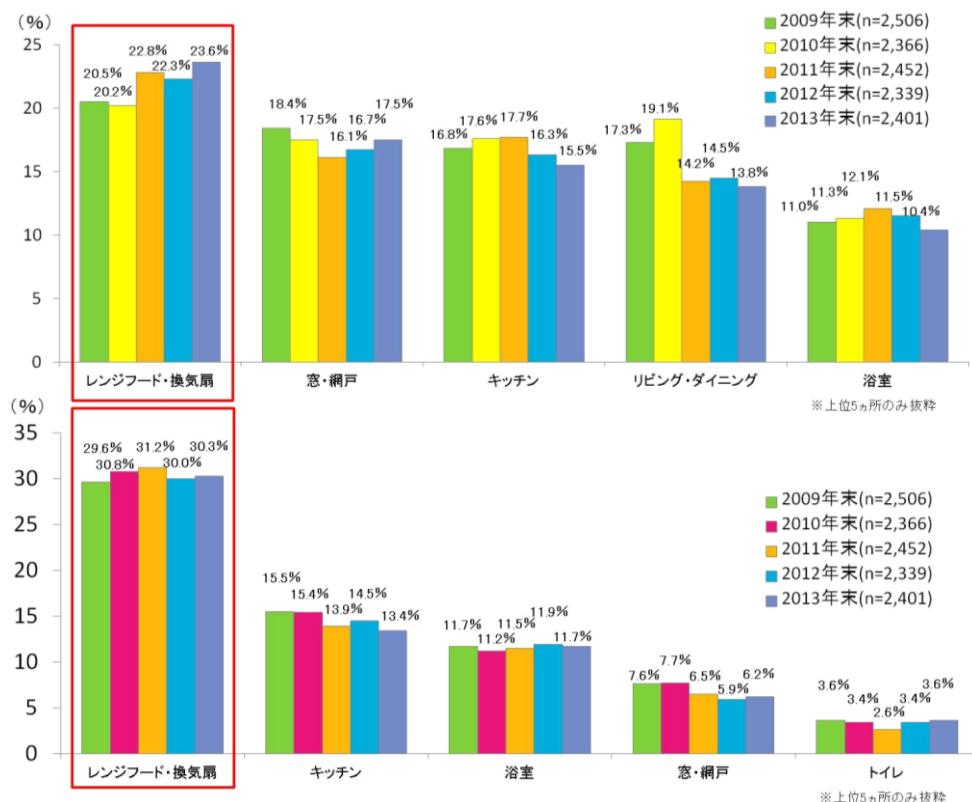
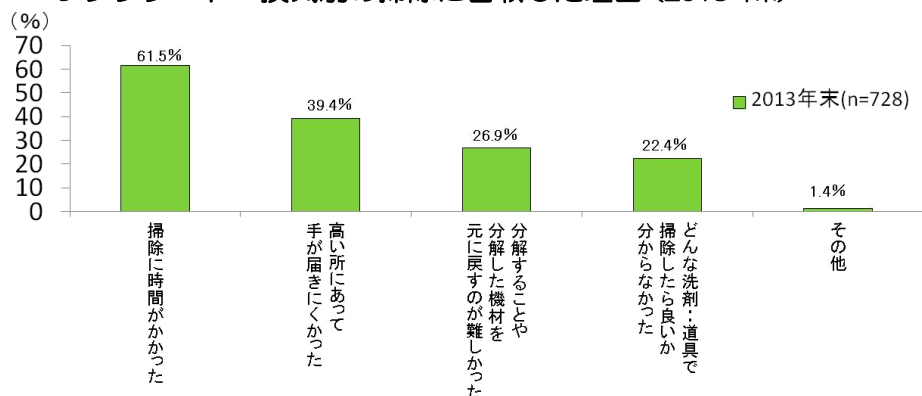


図4： レンジフード・換気扇の掃除に苦戦した理由（2013年末）



③ 最新の大掃除事情。キーワードは“コンパクト”

- ・限られた時間で上手にやりくり。「計画的に1日」や「複数日に分散」
- ・洗剤・道具は平均各3点。掃除の効率化には適切な数の用具の準備を

大掃除にかけた総時間は、2004年末は「6時間以上8時間未満」が最も多かったのに対し、2013年末は「4時間以上6時間未満」が最も多く、短くなっています。そのため、大掃除にかける日数にも変化があり、大掃除を「1日」で実施する人は10年前に比べて2倍に増えました（P.2 図2 参照）。その理由を聞いてみると、1日で大掃除した人のうち47.3%は「計画的に1日で実施した」と回答しており、「時間がなかった」の27.9%を大きく上回りました。また、2日以上かけた人の52.0%も、その理由を「1日に大掃除に取れる時間が限られていたから」と回答していることから、限られた時間の中で、日数や1日当たりの時間を“コンパクト”にしながら大掃除に取り組む姿がうかがえます。

大掃除で使用した道具や洗剤は、平均で各3点程度と、少数の用具で取り組んでいることが分かりました。大掃除では、短時間で数ヵ所のさまざまな汚れに対応しなければならないため、掃除用具は、汚れや素材に応じたものを予め数種類用意し、使い分けることをオススメします。

図5 : <上>大掃除にかけた総時間 (2004年末と2013年末)
<下>大掃除に費やした日数が「1日」の理由 (2013年末)

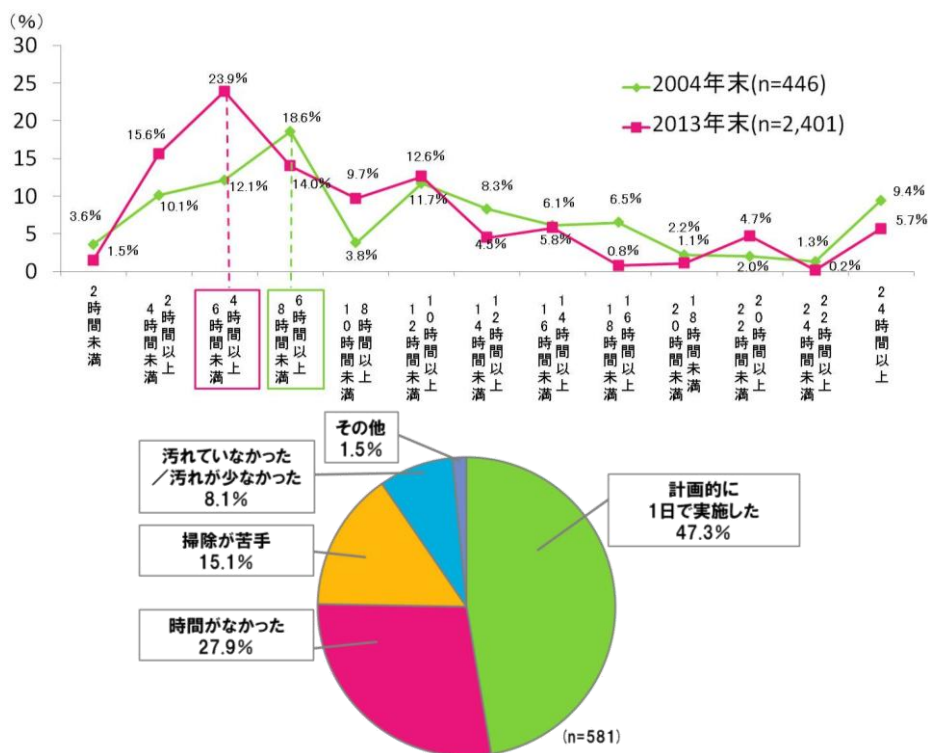
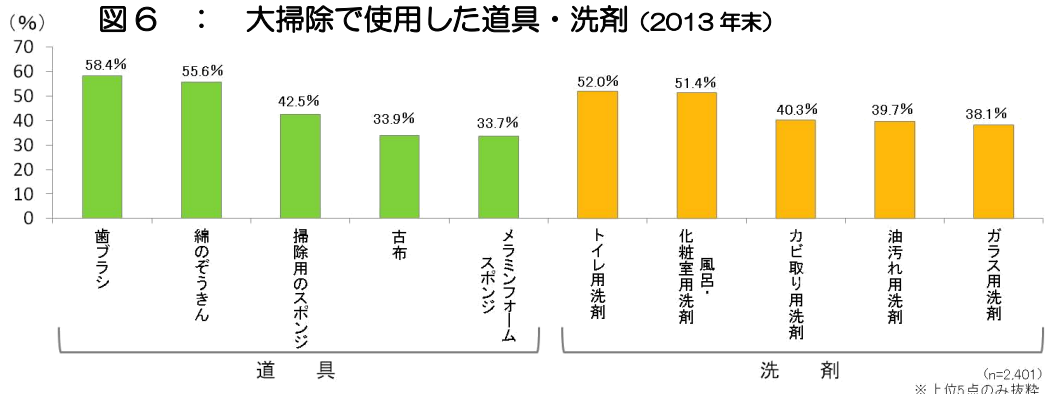


図6 : 大掃除で使用した道具・洗剤 (2013年末)



④ 1年の締めくくり！大掃除の“笑える”エピソード

大掃除の最中に起こった“笑える”エピソードを聞いてみたところ、さまざまな話が寄せられました。とくに、「お金や懐かしいものを見つけた」という話や、「家族やペットの動きに笑わされた」という話が多く寄せられました。しかし中には、「うっかりミスで何かを壊した」、「ケガをしてしまった」などの失敗談もありました。例えば網戸は、両側からぞうきんで挟んで拭くと、網がたるんだり破れたりせずに掃除ができます。掃除を始める前には、必ず注意点を確認して、失敗のないよう楽しく大掃除に取り組んでください。

図7：大掃除の最中に起こった“笑える”エピソード

意外な場所から見つけてビックリ！

- ・タンスの間から 500 円札が数枚出てきた。(31 歳・男性)
- ・ロン毛ブームのころの写真が出てきた。すべて処分したはずなのに。(36 歳・男性)
- ・子供のころ、畳を上げた時、下に敷いてあった新聞の漫画を読んでばかりで、掃除をしなかったのであきれられた。(77 歳・男性)
- ・学生の時に友達や元カレにもらった手紙が出てきた。今読むと笑える内容だった。(30 歳・女性)
- ・片づけをしていたら、かなり古い食品が出てきて、年代物に笑ってしまった。(49 歳・女性)
- ・夫のヘソクリが見つかった。(59 歳・女性)

家族&ペットと一緒に大掃除

- ・ワックスをかけた床で、子供が滑って遊んでいてとても楽しそうだった。(31 歳・男性)
- ・障子の張替えをするそばから猫が破ってしまった。(58 歳・男性)
- ・お風呂掃除に疲れきった父が、浴槽で寝ていた。(20 歳・女性)
- ・掃除を見ていた 1 歳の次女がまねをして、おしりふきで床や壁を磨いていた。(30 歳・女性)
- ・夫がベランダで窓を掃除中に子供が「寒い」と窓をしめてしまい、しばらく閉め出されていた。(32 歳・女性)
- ・初めてのエアコン掃除中に、旦那の頭の上に黒いホコリが雪の様にいっぱい舞って笑えた。(45 歳・女性)

掃除に夢中で、うっかりミス・・・

- ・椅子に乗って天井を掃除してたら、椅子から落ちた。(21 歳・男性)
- ・窓ガラスが開いていることに気付かないでホースで水をかけ、向かいの相手に水をかけた。(54 歳・男性)
- ・大晦日、窓を外して洗おうとした旦那が窓ガラスを割ってしまった。業者さんは既に年末のお休みに入っていて、隙間風の中で年を越すことに・・・。(44 歳・女性)
- ・網戸を拭いていたら、おもいきり破れた。(51 歳・女性)
- ・自分でレンジフードを分解して掃除をしたら組み立て方を間違えて動かなくなった。結局業者を呼んで 8,000 円かかった。(53 歳・女性)
- ・フローリングのワックスがけをしていて玄関まで行きついでしまい、床が乾くまで行く場所がなくなってしまった。(57 歳・女性)

【 調 査 概 要 】

- ◆調査目的 : 2013 年末の大掃除についての意識・実態把握
- ◆調査対象 : 20 歳以上の男女
- ◆調査地域 : 全国（エリア区分…北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州）
- ◆調査方法 : インターネットリサーチ
- ◆調査時期 : 2014 年 1 月 31 日（金）～2 月 3 日（月）
- ◆サンプル数 : 4,160 サンプル
※全データに対して n 数 30 未満のものは参考値として記載